

まちの水害対策の「今」

近年では、同じ場所でも長時間激しい雨を降らせる「線状降水帯」が多発しており、集中豪雨が連続すると、河川の氾濫や土砂災害の危険性が高まります。

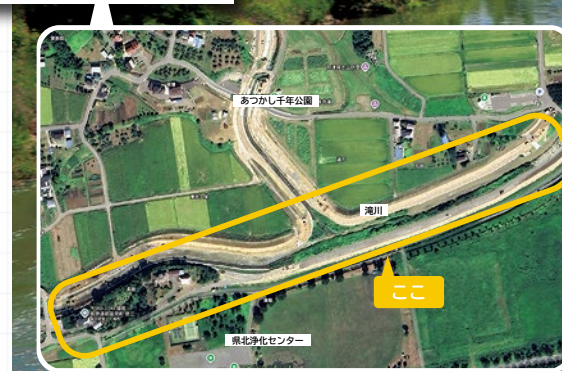
本格的に梅雨へと向かうこの時期に、国見町を流れる滝川・滑川・牛沢川の治水について知ってみませんか。

本ページでは令和元年10月の台風19号で被害を受けた滝川・滑川・牛沢川の「今」をお伝えします。



阿武隈川の堤防と同じ高さに整備

背水対策により洪水時の浸水被害を軽減



01 滝川 背水対策事業（県管理河川）

令和元年の台風19号では、阿武隈川が増水し、滝川へ逆流する背水現象が発生し、甚大な浸水被害が発生。

福島県では、欠下橋から上流1,140mまでの区間において、令和2年度から阿武隈川の堤防と同じ高さにする河川改修工事（堤防の嵩上げ、護岸および樋管の整備など）を着手し、令和6年度に完了。これにより、洪水時における浸水被害が軽減されました。



浸水被害の軽減を目指して

福島県県北建設事務所 事業部砂防課

（右）主査（河川改良係長） **橋本 和紀** さん
（左）副主査 **増山 智之** さん

地域住民の皆さんには、河川改修工事にご協力いただき、ありがとうございます。令和6年度までに滝川と牛沢川の背水対策事業が完了し、地域の治水の安全度向上を図りました。

近年の気候変動を踏まえると、令和元年台風19号を超える豪雨の発生も考えられます。自然災害は、いつ、どこでもおこり得ることから、自分や家族の身の安全を最優先に考え、日ごろから防災意識を高め、必要な備蓄品を用意し、緊急時の行動計画を立てておくことが重要です。

県では、地域の皆さんが安全・安心して暮らせるよう、今後も滑川の河川改修工事を引き続き実施し、早期完成を目指して事業を推進していきます。

02 滑川 背水対策事業（町管理河川）



滝川合流部から県道320号（五十沢国見線）までの750mの区間において、令和3年度より滝川の堤防と同じ高さにする河川改修工事（堤防

の嵩上げ、橋の架替、護岸及び樋管の整備など）に着手。令和7年度の完了を目指して進めています。



03 牛沢川 背水対策事業（県管理河川）



築館橋付近の200m区間において、擁壁により堤防の嵩上げを令和2年度から実施し、令和6年度に完了。阿武隈川の堤防と同じ高さとなり、河川からの浸水被害が軽減されました。

